

# 幼児教育の恩恵をすべての子どもたちに届ける

Steve Barnett, 全米幼児教育研究センター(NIEER), ラトガース大学



# 幼児教育政策の“パラドックス”

幼児期の経験は、幅広くも持続的な影響がある

- 学び、発達、健康
  - 教育的、社会的、経済的な成功
- 幼児教育への投資は、高い収益率が見込まれる
- リメディアル教育<sup>1)</sup>、虐待/ネグレクト、犯罪の減少
  - より高い収入、より良い健康、より長い寿命
  - 親への効果：収入の増加、男女間の就業率の格差の是正
- 大規模な公的プログラムでは、しばしば結果が再現されない
- 利益は小さく、その効果の持続も短くなる
  - 結果や成果の出方が幅広い
  - 収益率が低く、時に投資分を回収できないほど低い

<sup>1)</sup>リメディアル教育とは、学習の遅れた学生に対して行う補修教育、治癒教育のこと。主に大学教育での基礎学力の支援、学習スキルや生活支援までを補填することがねらいとされている。

遠い昔、遙か彼方で：

ペリー幼児教育実験が金字塔を打ちたてた

# ペリー実験における IQと学習到達度の経年変化

## 対象

- 非常に恵まれない境遇において、IQが低い子どもたち

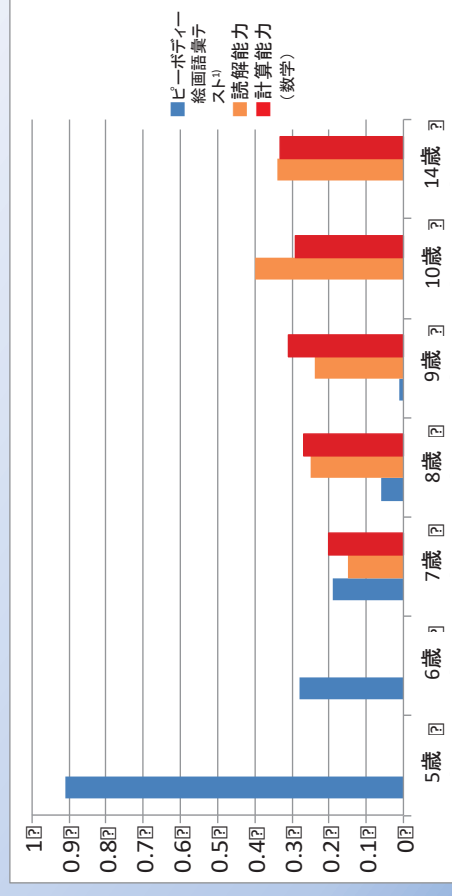
## プログラム

- 3歳と4歳の時に、公立学校で半日保育を実施
- 6人の子どもにつき、高度な資格を持つ教師1人を配置
- 家庭訪問を毎週行い、1:1の個人指導を実施
- 強いスーパーヴァイジョンと継続的な改善

## 研究

- 無作為化比較試験が1962年に開始
- 対象128名(40歳超までごくわずかな減少に留まる)

Barnett, W. S. (1996) Lives in the balance: Age 27 benefit-cost analysis of the High/Scope Perry Preschool Program.



<sup>1)</sup> Peabody Picture Vocabulary Test (PPVT)

## ペリー就学前実験における 長期的成果

- 特別支援教育を必要とする児童の減少
- 学習到達度の向上の持続
- 卒業率の向上
- 非行と犯罪の減少
- 雇用状況の改善と収入の増加
- 生涯を通して得られる恩恵の総額は、投資したコストの数倍にあたる

4

## ペリー幼児教育実験から半世紀を経て： 大規模調査での幼児教育の影響は…

- 平均的に小さい
- 非常に幅広い
- 追跡調査では、ほぼゼロあるいは負の結果のときも
- 最も失望する事例：
  - 無作為比較試験において、ヘッドスタート<sup>1)</sup>と早期ヘッドスタート<sup>2)</sup>は持続的な影響がみられない
  - テネシー州の幼児教育の無作為比較試験：ポジティブな効果は2年生までにネガティブに転じる
  - ケベック州の保育無償化政策でネガティブな結果

1) ヘッドスタートは、環境的に恵まれなかった3歳、4歳の子どもが対象。

2) 早期ヘッドスタートは、低所得家庭の妊婦、0-2歳の子どもとその家族が対象。

5

## 幼児教育の投資収益率：アメリカ

プログラム	対象	子ども一人あたりコスト(\$)	収入面での恩恵	利益の総額	利益収入／コスト	利益総額／コスト
ABC <sup>1)</sup> 0-5歳	家庭の経済状況：最低	\$83,530	\$147,359	\$208,283	1.76	2.49
PERRY 3-5歳	家庭の経済状況：最低	\$20,854	\$91,646	\$179,446	4.39	8.60
CPC <sup>2)</sup> 3-5歳	家庭の経済状況：低	\$9,719	\$32,933	\$105,294	3.39	10.83
HEAD START 4-5歳 (Kay/Duncan)	家庭の経済状況：低	\$7,982 \$9,173	\$20,022 \$14,459	\$22,392 ?	2.51 1.58	2.81 ?
HEAD START 3-5 (NHIS)	家庭の経済状況：低	\$	無	?	負	?
TENN VPK <sup>3)</sup> 4-5歳		\$	負	?	負	?
OK/GA <sup>4)</sup> (Cascio) 4-5歳	希望する全家庭	\$4,086	\$24,094	<より多い	5.90	<より大きい
TULSA <sup>5)</sup> (Bartik) 4-5歳	希望する全家庭	\$9,183	\$14,415	\$17,378	1.57	1.89

<sup>1)</sup> ABC: Abecedarian Project, <sup>2)</sup> CPC: Child-Parent Center Program, <sup>3)</sup> TENN VPK: Tennessee Voluntary Pre-K, <sup>4)</sup> OK/GA: Oklahoma and Georgia, <sup>5)</sup> TULSA: Tulsa Universal Pre-K Program

## このパラドックスをどう説明できるか？

- 小規模実験の結果は、全く同じようには再現できない
  - 最も優れた成果を出した事例は完全に普遍化できない – はずれ値
  - 大規模化すると、対象とその文脈は変わる – より恵まれた境遇の子どもも混ざってくる
  - 成果は、対象とその文脈に大きく依存する
- 政治的問題 政府は質に十分な投資を行わない
  - コストは先行し、明確に存在する；その一方で、利益は長期的に得られるもので、不確実で、測定が困難で、分散している
  - 設計の失敗 – 効果的なモデルを再現していない。効果的な実験はすべて、複数年に渡って、非常に集約的に実施されており、多額の費用がかかっていた
  - 実施の失敗 – 規模の問題ではない。優先事項を変えてしまふ、最終責任者が不明確、実行能力が不十分
  - 易きに流れ、間違った目標を立てる

7

## 先行研究のレビューから得られる 持続的で大きな利益に関する教訓

- 意図的な指導を通して高い目標に向かう
- 制約を受けない領域に焦点を合わせる
  - 言語
  - 数学(単純な操作に留まらず、幅広く)
  - 自己制御、個性、社会的情動的発達、創造性？
- 1対1や小グループでの個別的な対応
- 力強く推進し、結果に責任を持つ
- 一度の「(集約度と持続期間が)大きな」実行から、深く広い利益を得る
- 全ての子どもを対象にする(対象を絞ると、漏れがあり、質も低くなる)

8

## 事例：ニュージャージー州(アメリカ)の判決で幼児 教育の提供が命じられた

- 最高裁判所は、子どもが社会に十分に参加する市民となるためには、子どもが幼児教育を受ける権利を有することが必要であると言いつ渡した
- 子どものニーズに基づいたデザイン(とコスト)
- 貧困層が多い31の学区
- 3・4歳の44,000人の子どもたち
- 体系的な教育改革の一環

9

## ニュージャージー州の幼児教育モデル

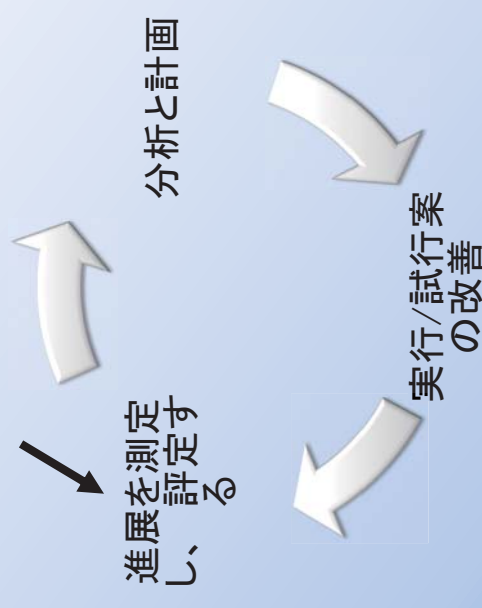
- 全ての子どもが対象
- 高い目標
- 十分な財源
- 優秀な教師
- 小規模クラス
- 3歳, 4歳(2年保育)
- 全日保育
- 公私事業者の連携
- 継続的な改善システム(GPS)



10

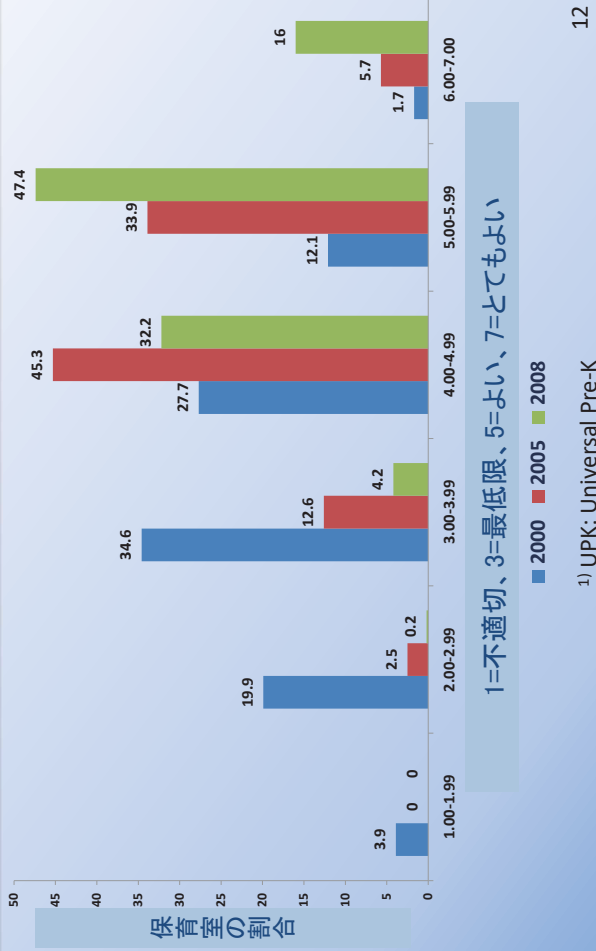
## 継続的な改善のサイクル

幼児期の学びを育み、プログラムの規格を開発する

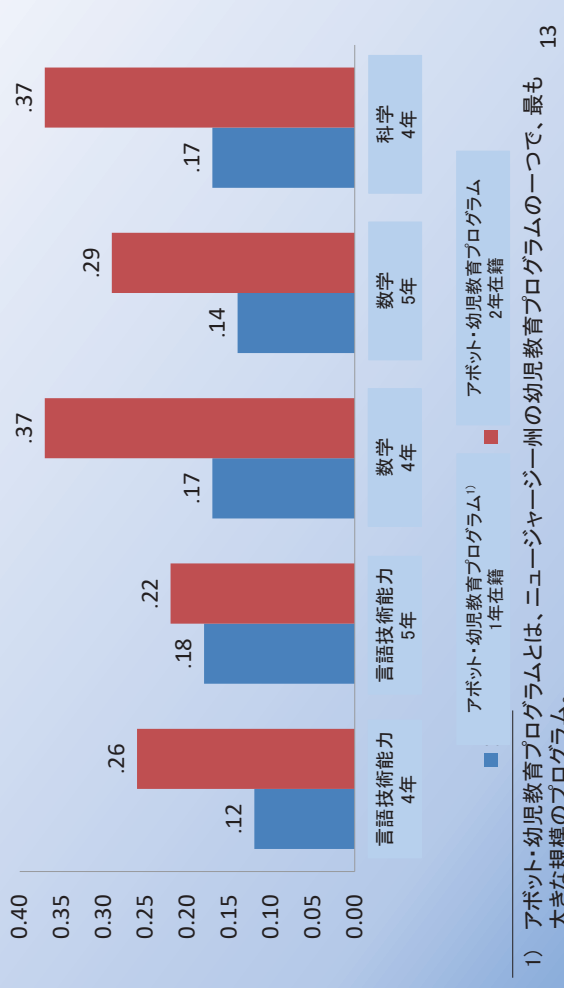


11

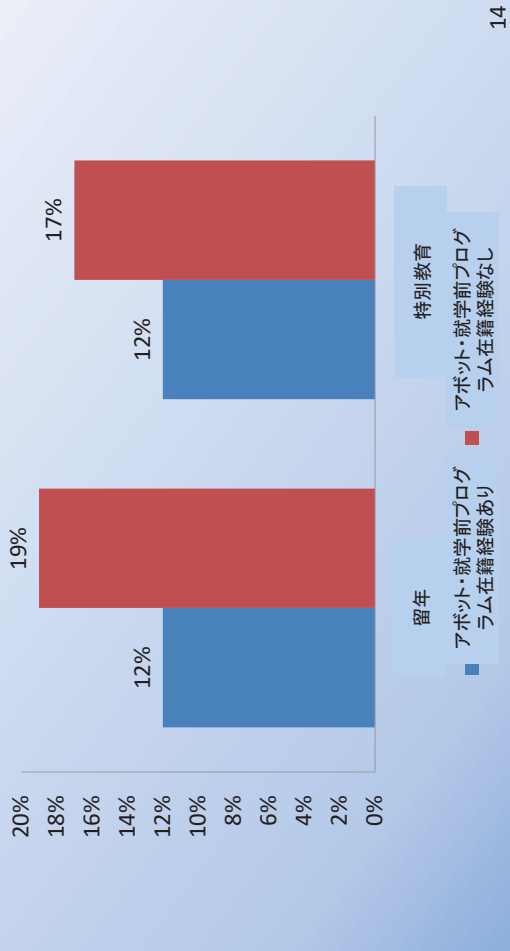
## ニュージャージー州の全幼児対象の幼児教育施設 (UPK)における質の変容(ECERS-Rで測定)



## 4年生と5年生のときの成績にニュージャージー州の UPKが及ぼす影響



## 5年生のときの留年と特別支援にニュージャージー州のUPKが及ぼす影響



## 政策立案者への示唆

- 子どもとその家族がより良く生きるビジョンを持つことから始める
- 実績のある事例に基づいて、目標を達成するために必要な投資を決定する
- すべての子どもたちに利用可能にする
- 力強く実行するために必要な能力を構築する
- あらゆるレベルで「継続的な改善システム(GPS)」を用意する: モニタリングではなく、継続的な改善

## プログラムのデザインに関する教訓

- 目標設定から始め、それを達成するために政策とプログラムをデザインする。コストはデザインに応じて決まる
- 構造的な特質(資源)は必要だが、それだけでは十分でない
- デザインには、実行を支えるインフラ(GPSなど)も含まれる
- プログラムの特質は、独立してではなく、共同的に質と成果に影響を及ぼす
- 体系的に計画する：何が「成功するか」は、幼児教育の以前、以後、最中に何が起こるかに左右される

16

## 保育者への教訓

- 基盤となる深くて幅広い領域に焦点を合わせる
- 個別化して、教育的意図をもって保育する
- 大きく意味のある幼児期の育ちを目指す
- データを用いて保育実践を継続的に自己評価し、「研究」プロセスの一部となる
- 家庭および幼児教育の以前、以後、最中の他の教育者と連携する(小学校教師も変化に適応する必要があるかもしれない)

17

## 研究者への教訓

- 特定のプログラムを調べるのではなく、プログラムが成功する理由の本質を追究する
- プログラムの構造的特質を包括的に研究する
- より多くの種類のアウトカムを測定する
- 変化するために必要な時間を考慮する
- 継続的な改善のツールとして、保育実践のなかに研究を組み込む
- 政策立案者と保育者を仲間に引き入れる
- 時間と場所が限定された「現場の」知識を探究する

18

政策立案者と市民は、重要な選択を迫られている一  
すべての子どもたちに、質の高い幼  
児教育を提供する道を選択するのか？

森の中で道が二つに分かれていた。そして私は…  
私は、人があまり通っていない道を選んだ。  
その選択が、私の人生を一変させた。

ロバート・フロスト